

第5学年国語科学習指導案

1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」

2 単元の展開にあたって

教材のよさ

この教材はわらぐつや神様に対して「みったぐない」「そんなの迷信でしょ」と言っていたマサエが、祖母ミツの若い頃の思い出話を聞いて祖父母の温かい真心や生き方に感動し、変容していく姿を描いた作品である。児童は、同じような年頃に描かれているマサエの視点に立って、おばあちゃんはどうな話を聞かせてくれるのだろうと興味を持って読み進めていくものと思われる。

おばあちゃんの昔語りの部分は、おみつさんの行動描写の文や会話文が分かりやすく表されているため、児童は、その考え方を読み取りやすいだけでなく、おみつさんの人柄に好感を持ち、おみつさんの心に寄り添って読み進めていくことができるであろうと考える。おばあちゃんの昔語りを聞いてその姿に感動するマサエの姿を読み取ることで、マサエと同じように、ものを外見にこだわって見始めてしまうこの時期の子ども達には、自らのものの見方・考え方や生き方を考えていく上でも意義深い学習になると考える。

またこの教材は、児童が登場人物の立場に立って読み進めていくことで、一人一人が自分なりの読みを持つことが容易である。その様々な読みの共通点や相違点を伝えたい、知りたいという意欲を持って交流することで、伝え合う力も身に付き、お互いの読みも深まると考える。

学年の子どもの実態

本学年の子どもたちは、一学期「新しい友達」の学習で音読活動を取り入れ、場面の様子や登場人物の心情の変化について読み取り、人物の考え方に迫る学習をしている。また、「麦畑」では情景に目を向けて自分なりの読みをつくっていった。さらに、比喻や倒置法など表現の工夫に目を向けた読み方も学習してきている。

子どもたちは、自分の読みの根拠となる叙述を探すことはできるものの、叙述を解釈し、めあてに沿った自分なりの読みをまとめることは十分ではない。また、交流では、自分が読み取ったことの出し合いに終わりがちで、友だちの読みを受けて自分の読みを広げたり、深めたりできるようにすることが課題である。

学習内容と指導・支援の考え方

本単元の指導に当たっては、かまえる段階では、題名と冒頭からわらぐつや祖母に対するマサエの見方、考え方をとらえ、祖母が昔語りをする意図を問う全体のめあてをつくらせる。めあてに対する自分なりのこたえを交流し、おみつさんと大工さんの人やものに対する考え方、二人の生き方、マサエの考え方の変容を読み確かめていく視点として学習していく計画を立てる。

ふかめる段階では、おみつさんと大工さんの言動から、おばあちゃんが伝えたかったことが人やものを大切にすることと一生懸命に取り組むことの大切さ、そしてその考えを今もお互いに持ち続けている二人の生き方であることを読み確かめていく。マサエの変容については、文章全体の構成に着目し、昔語りの前後のマサエの言動との対比で読み取らせる。おばあちゃんの昔語りでのおみつさんと大工さんの考え方と、今もその気持ちを大事に持ち続けている二人の生き方に心を打たれたマサエの考え方の変容に気付かせていく。

まとめる段階では、読み確かめたことと題名をつないで、自分の考え方や生き方について振り返らせる。交流の場においては、一人一人が自分の読みを持った後その読みを図化し、小グループでの話し合いを行い、自分の読みを出し合う場を作る。その際、自分が書いた伝え合いカードをもとに話し合い、カードを比べたり、整理したりすることで、読みを深めていくことができるようにする。

3 単元の目標

- おばあちゃんがマサエに伝えたかった相手のことを思う考え方と、その生き方に感動して変容するマサエの姿を読み取ることができる。
- ◎ 登場人物の考え方や生き方を、自分の読みの根拠を明らかにして図やカードに表し、話の構成を工夫して話したり、相手の意図を考えながら聞いたりして、互いの読みを大切にしながら話し合うことができる。

4 学習計画 (全12時間)

段階 時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点 (※伝え合う力を育てる支援)
か ま え る	1 本時のめあてを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 単元名, 題名, 冒頭から, 読みのめあてをつくろう。 </div>	
1 / 12	2 単元名について話し合う。 ○ 人物の考え方, 生き方とはどんなものか考える。 3 題名から内容を予測し, 疑問を話し合う。 ○ マップを使って図で表し, 「神様」のイメージを広げる。 ・神様とはどんなものだろう 4 冒頭を読み, マサエとおばあちゃん考え方の違いを読みとる。 (1) 時, 場所, 登場人物を確認する。 (2) マサエとおばあちゃんの, わらぐつに対する考え方の違いを比べる。 ○ マサエの言動から, 考え方を読みとる。 ・「みったぐない」「そんなの迷信でしょ」 ○ おばあちゃんの言動から, マサエに何か伝えたい気持ちを読みとる。 ・「正真正銘」「まじめな顔」「それじゃあ, ひとつ〜。」 5 題名と冒頭をつないで, 読みのめあてを作る。	○ 単元名から, この単元で学習していく構えを持たせる。 ○ 題名を読んで疑問に思うことや, どんな話を話し合う。 ○ 「神様」という言葉に着目させ, 神様とはどんなものか, わらぐつにどんな神様がいるのかという課題意識を持たせる。 ○ 「雪がしんしんと」「こたつ」「スキー」などから場の設定をとらえさせる。 ○ 「やだぁ」「みったぐない」「神様だって」「迷信でしょ」という自分中心のマサエの言葉に着目させる。 ○ おばあちゃんが「まじめな顔になって」話そうとしているのはなぜか考えさせ, 何かマサエに分かってほしいことがあるのだろうと言うことに気付かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 読みのめあて ○ わらぐつの中に神様のいなくなった話で, おばあちゃんはマサエに何を伝えたかったのだろう。 </div>		
2 ・ 3 / 12	1 本時のめあてを確認する。	○ 難しい言葉, わからない言葉について確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 全文を読み, 読みのめあてに対する答えを書こう。 </div>	
2 ・ 3 / 12	2 全文の範読を聞く。 ・ 3 音読の練習をする。 4 難語句・進出漢字について調べる。 5 文章構成とあらすじをまとめる。 6 読みのめあてに対する自分の考えを書く。 ○ 答えとその根拠となる文を見つけながらまとめる。	○ はっきりした声ですらすら音読できるようにさせる。 ○ 一行空きに着目させ, 「現在①ー過去ー現在②」という文章構成をとらえさせる。 ○ 文章構成をとらえやすいように, あらすじを表に書きまとめる。

か ま え る / 12	1 本時のめあてを確認する。	
	読みのめあての答えを話し合い、学習計画を立てよう。	
	2 読みのめあての答えを話し合う。 ○ 答えの相違点を整理し、これから何を読み確かめていくのかの視点をはっきりさせる。	○ 答えのとらえ方の違いをグループ分けし、話し合わせる。
5	予想される読みのめあての答え ○ おばあちゃんは、人やものに対して大切にすることを大事なことだと伝えたかった。	
12	3 各場面での中心となる文を見付け、学習計画を立てる。 読み確かめていく視点 ○ おみつさんと大工さんの人やものに対する考え方を読み確かめる。 ○ おばあちゃん、おじいちゃんの生き方を読み確かめる。 ○ マサエの考え方の変容を読み確かめる。	○ おばあちゃんの言う「神様」という言葉の意味から、その指すものがおみつさんと大工さんの考え方を表していることを確認し、読み確かめていくめあてとする。 ○ おばあちゃんが昔話から数十年たった今でも相手に対する思いを大切に思っていることに気付かせ、二人の生き方を読み確かめていくことをめあてとする。 ○ おばあちゃんの話聞く前と聞いたあとのマサエの言動から、マサエの考え方の変容を読み確かめることを確認する。
ふ か め 一 組 本 時	1 本時のめあてを確認する。	
	おばあちゃんがいう「神様」とは何か、おみつさんや大工さんの考え方をもとに読み確かめよう。	
	2 昔話の場面を音読する。	○ 昔話の場面を音読し、おみつさん、大工さんの言動の叙述とそこから分かる二人の考え方について書き込みをさせる。
	3 自分の読み取りをまとめる。	※ 伝え合いカードに自分の読み取りを書かせる。
	4 読み取ったことを話し合う。 (1) 自分たちで読み取ったことをもとに、グループで話し合う。 (2) グループで話し合ったことをもとに、全体で話し合う。 ○ おみつさんと大工さんの言動をもとに、それぞれの考え方を話し合う。 ・ はく人が～ ・ しっかりしっかり～ ・ いい仕事ってのはな～ ○ おみつさんと大工さんで共通している考え方について話し合う。	※ グループで話し合い、読み取りの相違点を話し合い、おみつさんの考え方についてまとめる。 ※ 話し合ったことを図に表し、説明させる。 ○ おみつさんが、どんな場面でも自分ではなく、相手のことを考えて行動していることに気付かせる。 ○ 大工さんがものは見かけではなく、相手の身になって考えることを大事にしていることに気付かせる。 ○ おみつさんと大工さんの共通した考え方から、おばあちゃんが伝えたかったことについて書きまとめさせる。 ○ 自己評価を行い、自分の読みを振り返る。
5 本時の学習のまとめをする。		
1 本時のめあてを確認する。		
おばあちゃんが、「いい話だろ。」とマサエに自慢しているのはどんなことか読み確かめよう。		
2 昔話、現在②の場面を音読する。	○ 昔話の場面を音読し、おみつさんの言動の叙述	

	<p>3 自分の読み取りをまとめる。</p> <p>8 4 読み取ったことを話し合う。</p> <p>・ (1) 自分たちで読み取ったことをもとに、グループで話し合う。</p> <p>9 (2) グループで話し合ったことをもとに、全体で話し合う。</p> <p>12 ○ 1行空きの所から一数十年の時間の経過</p> <p>○ 現在②の場面から一雪げたに対しての二人の思い</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>とおばあちゃんの生き方について書き込みをさせる。</p> <p>※ 伝え合いカードに自分の読み取りを書かせる。</p> <p>※ グループで話し合い、読みとりの相違点を話し合い、おみつさんの考え方についてまとめる。</p> <p>※ 話し合ったことを図に表し、説明させる。</p> <p>○ 一行空きに注目させ、昔話から現在までの時間の長さに気付かせる。</p> <p>○ おばあちゃんたちが現在でも、おみつさんと大工さんと同じ考えであることに気付かせる。</p> <p>○ 自己評価を行い、自分の読みを振り返る。</p>
ふかめる	<p>おばあちゃんの話聞いて、マサエの人やものに対する考え方がどう変わったかを読み確かめよう。</p> <p>2 現在②の場面を音読する。</p> <p>3 現在①と現在②のマサエの言動を比べながら書き込みをする。</p> <p>10 4 書き込みをもとに、マサエの考え方の変容について話し合う。</p> <p>11 (1) 自分たちで読み取ったことをもとに、グループで話し合う。</p> <p>12 (2) グループで話し合ったことをもとに、全体で話し合う。</p> <p>○ マサエが、おばあちゃんが伝えたかったことをどう受け止めているのかを話し合う。</p> <p>・ 「～この雪げたの中にも～」</p> <p>○ おばあちゃんとおじいちゃんの生き方から、マサエがどう変わったのかを話し合う。</p> <p>・ 赤いつま皮の雪げたをかかえたまま～。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>○ 現在②の場面を音読し、マサエの言動の叙述とマサエの考え方について書き込みをさせる。</p> <p>※ 伝え合いカードに自分の読み取りを書かせる。</p> <p>※ グループで話し合い、読みとりの相違点を話し合い、マサエの考え方についてまとめる。</p> <p>※ グループで話し合ったこと図に表し、説明させる。</p> <p>○ マサエの言葉から、マサエがおばあちゃんの考え方を受け止めていることに気付かせる。</p> <p>○ マサエの変容が、おばあちゃんの昔語りだけではなく、その考えを持って今も生き続けている二人の生き方にも影響を受けていることに気付かせる。</p> <p>○ 自己評価を行い、自分の読みを振り返る。</p>
まとめ	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>12 「わらぐつの中の神様」を読んで、読みのまとめをしよう。</p> <p>12 2 これまでの学習を振り返り、まとめをする。</p> <p>○ 読みのめあてにもどり、おばあちゃんがマサエに伝えたかったことをまとめる。</p> <p>○ 自分の生活を振り返り、学習してきた人物の考え方や生き方と比べながら、自分の考え方や生き方についてを書きまとめる。</p> <p>○ この学習で学んだ読み方のまとめをする。</p>	<p>○ マサエの変容を自分と重ねて感想を書きまとめさせる。</p> <p>○ どんな読み方をしてきたか振り返らせる。</p>

第5学年国語科学習指導案

5 本時 7 / 12

6 本時の目標

- おみつさんや大工さんの言動からおばあちゃんが言う「神様」とは何かについて読み取り、相手の身になって考えることや、物事に一生懸命に取り組むことを大事にする考え方を読み確かめることができる。
- ◎ 読み取りの根拠を書き表したものを活用し、自分の読みを明確にして、おみつさんと大工さんの考え方について話し合いを進めることができる。

7 本時学習を進めるにあたって

前時までに子どもたちは、おみつさんと大工さんの言動から、おみつさん・大工さんの人やものに対する考え方について書き込みをし、自分の考えを持っている。

本時では、前時までに書いている自分の考えをグループや全体で交流し、おみつさんと大工さんの考え方についてまとめ、そこからおばあちゃんが言う「神様」とは何かについてまとめていく。

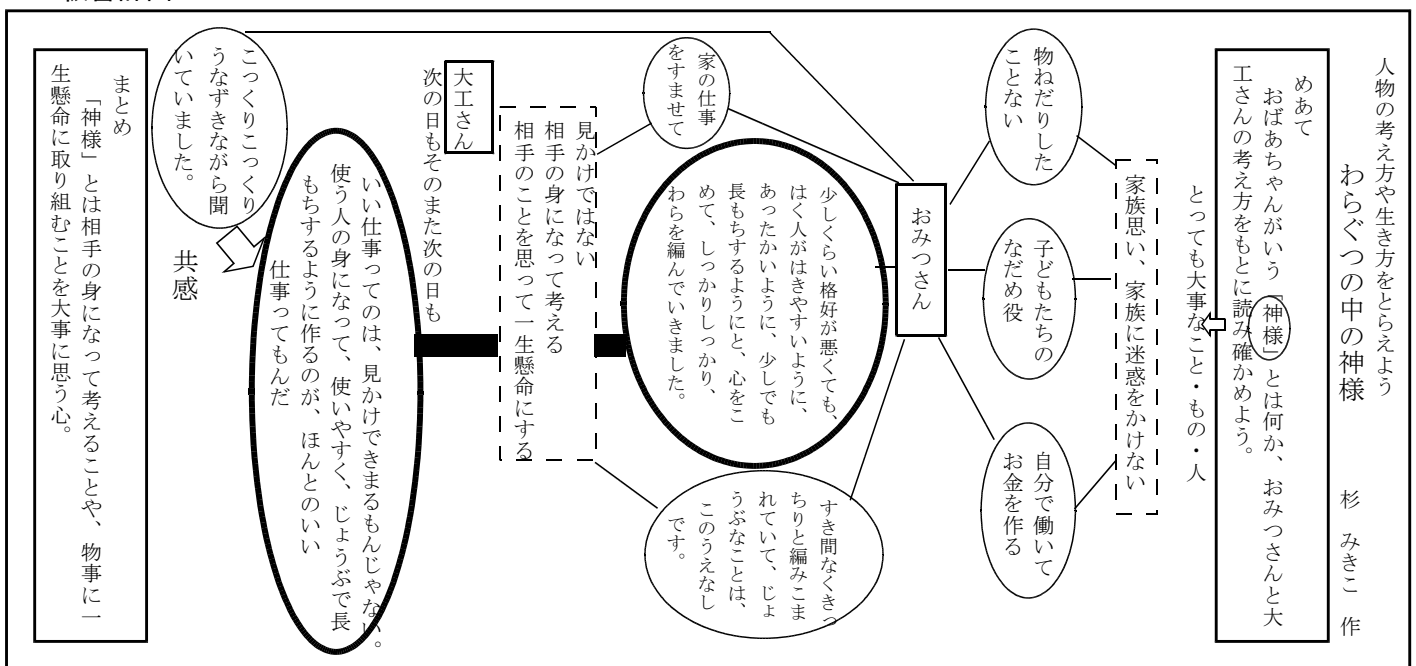
まず、小集団の話し合いで、それぞれが読みとっているおみつさんと大工さんの人やものに対する考え方について話し合う。

その際、前時までに書き込んでいる学習プリントと伝え合いカードをもとに、話し合いを進めていく。学習プリントには自分なりに考えたおみつさんと大工さんの考え方を図化したものを、伝え合いカードには根拠となる叙述とそこから分かることを書かしておく。グループでの交流を通して、友達のカードと比べながら、読みとりや根拠となる叙述の共通点や相違点を整理し、おみつさんと大工さんの人やものに対する考え方についてまとめさせていく。

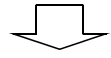
次に、全体での交流ではグループで話し合ったことをもとに、おみつさんと大工さんの考え方の共通点を読み深め、おばあちゃんがいう「神様」についてまとめていく。おみつさんの「すき間なくきっちり編みこまれた」「少くくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あったかいように、長持ちするように」という叙述から、おみつさんが相手の身になって考えるという考えを持った人ということを読み取らせる。また、大工さんの「いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使いやすく、丈夫で長持ちするように作るのがいい仕事ってもんだ。」という叙述から大工さんも見かけではなく相手の身になって考えるという考え方をしていることを読み取らせ、二人の考え方が共通していることをとらえさせる。さらに、「しっかりしっかり、～」「こっくりこっくり～」という繰り返しの表現も読み取らせる。

最後に、それぞれの考え方を読み取った後、大工さんの話を真剣に聞いているおみつさんの姿や、大工さんの考え方におみつさんが共感しているところを読み、おばあちゃんがいう「神様」とは何かまとめていく。

8 板書計画



9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容	指導上の留意点 (※伝え合う力を育てる支援)
2	1 前時の書き込みをもとに本時学習のめあてを確認する。	○ 前時までの学習の流れを掲示しておく。
	おばあちゃんがいう「神様」とは何か、おみつさんや大工さんの考え方をもとに読み確かめよう。	
10	2 おみつさんと大工さんの人柄や、人・ものに対する考え方について話し合う。 (1) 自分たちで読み取ったことをもとに、グループで話し合う。	※ 学習プリントと伝え合いカードをもとに、自分の考えを話し合わせる。 ※ 話し合いをしやすいようにそれぞれの読みにより小集団にする。 ※ グループで、おみつさんや大工さんの考え方やその根拠となる叙述について整理させる。
20	(2) グループで話し合ったことをもとに、全体で話し合う。 ○ おみつさんや大工さんの言動をもとに、それぞれの人物像について話し合い、お互いの共通している考え方について話し合う。 (おみつさん) ・ すき間なくきっちり編みこまれていて～ ・ 少しくらい格好が悪くてもはく人がはきやすいように、あったかいように、長持ちするように、しっかりしっかりわらを編んでいきました。 (大工さん) ・ 次の日もそのまた次の日も買いに～ ・ いい仕事ってのはな、見かけできまるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすく、丈夫で長持ちするように作るのがいい仕事ってもんだ。 (共通点)  見かけではなく、相手の身になって考えることが大事であるということ。	※ グループで話し合ったことを図に表し、説明させる。 ○ おみつさんが、どんな場面でも自分ではなく、相手のことを考えて行動していることに気付かせる。 ○ おみつさんが人のことを一生懸命考えていることをとらえさせる。 ○ 「しっかりしっかり、わらを編んでいきました。」の繰り返しを読むことで一生懸命わらぐつを編む様子をとらえさせる。 ○ 「次の日もそのまた次の日も・・・」の繰り返しを読むことで、大工さんがおみつさんのところに何度も何度もきたことに気付かせる。 ○ 大工さんも、相手の身になって考えることを大事にしていることに気付かせる。 ○ おみつさんの相手の身になって考え、一生懸命に取り組む姿と、大工さんの相手の身になって考えるということをつないで二人の共通している考えに気付かせる。 ※ おみつさんと大工さんの考えの共通点が分かるよう図化しながら板書をする。 ○ 「こっくりこっくりうなずきながら聞いていました」の繰り返しを読むことで人の話を一生懸命聞いていることや大工さんの考えに共感していることに気付かせる。
8	3 本時学習をまとめをする。 ○ 「神様」とは何かまとめる。	○ おみつさんの考え方と大工さんの考え方に共通点があることを知り、「神様」について書きまとめさせる。
	「神様」とは相手の身になって考えることや、物事に一生懸命に取り組むことを大事に思う心。	
4	今日の学習でを書く。	○ 自己評価を行い、自分の読みを振り返らせる。

第5学年 国語科学習指導案

5 本時 11 / 12

6 本時の目標

- 現在①と現在②の場面を比べ、おばあちゃんの話聞いたマサエが、おばあちゃんに伝えたかったことを受け止め、祖父母の生き方に感動して見直した心の変容を読みとることができる。
- ◎ 読み取りの根拠を書き表したものを活用し、自分の読みを明確にしてマサエの心の変容について話し合いを進めることができる。

7 本時学習を進めるにあたって

前時までに、おばあちゃんがマサエに伝えたい考え方と実際に自分たちが過ごしてきた生き方を学習してきている。本時では、おばあちゃんの話聞いたマサエがどのように変容していくのか、現在①と現在②の場面を比べながら考えさせる。

これまでの学習で、おみつさんや大工さんの言動をもとに二人の考え方をまとめてきている。この場面でも、マサエの言動をもとに考え方がどう変わったかをまとめていく。本時は、前時までに自分なりにまとめている読み取りを、グループや全体で交流し、マサエの考え方についてまとめていく場面である。

まず、小集団の話し合いで、それぞれが考えているマサエの考え方について話し合う。その際、前時までに書き込んでいる学習プリントと伝え合いカードをもとに、話し合いを進めていく。学習プリントには、自分なりに考えたマサエの考え方を、伝え合いカードにはその根拠となる叙述とその理由を書かしておく。友だちのカードと比べながら、読み取りや根拠となる叙述の共通点や相違点を整理し、マサエの考え方をまとめさせていく。

全体での交流では、グループで話し合ったことをもとに、さらにマサエの考え方について深め、まとめていく。ここでは、現在①のマサエと比べ、変容した姿として次の点を確認していく。

- 「～したんだね。」「かわいいね。」など、言葉遣いが優しくなっている。
 - 「この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」の言葉から、おばあちゃんに伝えたかった思いを受け止めている。
 - 昔話のおみつさんと大工さんがおばあちゃんとおじいちゃんだったことの驚きと、その二人が同じ考えを持ちながら生きてきたことを知り、改めて二人の生き方に感動し、尊敬している。
- これらのことから、マサエの行動の共通点を整理し、祖母の考え方、生き方を受け止めたマサエの考え方をまとめていく。

8 板書計画

まとめ
マサエは、おばあちゃんの話聞き、相手のことを考えることが大切だということを知り、二人の生き方を尊敬するようになった。

現在① マサエ

おばあちゃんの昔話
見かけだけでなく、相手の身になって考えると、や物ごとに一生懸命取り組むことが大切である。

おじいちゃんとおばあちゃんの考え方

お互いに相手のことを大切にしながら生きてきている。
おじいちゃんとおばあちゃんの生き方

自分中心の考え方

現在②

「使う人の身になって、心をこめて作ったものには、神様が入っているのと同じなんだ。それを作った人も、神様とおなじだ。」
神様 大切なもの

「幸せにくらしたんだね。」
「あら、きれいだ。かわいいね。」
言葉遣いが優しくなっている。

「おじいちゃんとおばあちゃん、この雪げたの中にも神様がいます。」
神様 大切なもの

「おじいちゃんとおばあちゃん、おじいちゃんに早く会いた。おじいちゃんにそんなすごい人だったんだ。」
おじいちゃんやおばあちゃんを尊敬しなりました。

「赤いつばねの雪げたをかかえたまま、おかしななにかんへ飛び出していきました。」

マサエ

人物の考え方や生き方をとらえよう
わらぐつの中の神様
杉みき子

- 42 -

9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）
2	1 前時を想起し、めあてを確認する。	○ 前時までの学習の流れを掲示しておく。
<p>おばあちゃんの話聞いて、マサエの人やものに対する考え方がどう変わったかを読み確かめよう。</p>		
15 20	<p>2 マサエの変容した姿について話し合う。</p> <p>(1) グループで自分の読み取りをもとに話し合う。</p> <p>○ マサエの変容が見られる言動</p> <p>○ マサエが変わったわけ</p> <p>(2) グループで話し合ったことをもとに全体で話し合う。</p> <p>○ マサエの変容が見られる言動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幸せにいらしたんだね。」 ・「あら、きれいだ。かわいいね。」 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>言葉遣いの変化ー相手を思う気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この雪がたの中にも～いるかもしれないね。」 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんのおばあちゃんに対する思いに気付く。 ・おばあちゃんの思いを受け止めている <ul style="list-style-type: none"> ・赤いつま皮の～飛び出していきました。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんを尊敬する。 <p>○ マサエが変容した理由について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おばあちゃんが昔話で伝えたかったことを受けとめている ・ お互いを思い続ける二人の生き方を知り、二人に対しての見方が変わる 	<p>※ 学習プリントと伝え合いカードを元に、自分の読みを話し合わせる。</p> <p>※ グループで、マサエの考え方やその根拠となる叙述について、相違点を整理させる。</p> <p>※ グループで話し合ったことを図で表し、まとめる。</p> <p>※ グループで話し合ったことを、図を使って発表する。</p> <p>※ 板書の中で、マサエの考え方の共通するところが見えるように、線でつなぐ。</p> <p>○ 昔話の場面を振り返らせ、神様の意味について考えさせる。</p> <p>○ 現在①のマサエの言葉遣いと比べさせ、相手を思いやった言葉に変わっていることに気付かせる。</p> <p>○ マサエが、現在①の場面では「迷信でしょ。」と言っていたのが、現在②では「神様」という言葉を使っていることに着目させる。</p> <p>○ おじいちゃんとおばあちゃんが、お互いを思いながらこれまで生きてきたことに気付かせる。</p> <p>○ 「かかえたまま」を「持って」という別の言葉に代えたり、「飛び出して」ということばをはずしたりして、マサエの気持ちを比べさせる。</p> <p>○ 現在①のおじいちゃんへの態度と比べ、マサエが変わった理由を考えさせる。</p>
5	<p>3 本時学習のまとめをする。</p> <p>○ マサエの考え方がどう変わったのかを、おばあちゃんのと二人の生き方という点でまとめる。</p>	<p>○ 話し合いをもとに、自分の読みをまとめさせる。</p> <p>○ マサエの成長が、人との関わりに関係があることに気付かせる。</p>
<p>まとめ</p> <p>マサエは、おばあちゃんの話聞き、相手のことを考えることが大切だという考え方を持つようになった。また、おばあちゃんとおじいちゃんの生き方を知り、二人の生き方を尊敬するようになった。</p>		
3	4 今日の学習でを書く。	○ 自己評価を行い、自分の読みを振り返らせる。